

巻頭のことば「細胞シート再生医療の世界展開への挑戦」

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-11-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡野, 光夫 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00031709

細胞シート再生医療の 世界展開への挑戦

一般社団法人未来医学研究会 会長
東京女子医科大学 名誉教授
東京女子医科大学先端生命医学研究所 特任教授
米国ユタ大学薬学部併任教授

岡野 光夫

Teruo Okano



2015年からユタ大の中にCell Sheet Tissue Engineering Center (CSTEC)を立ち上げている。日本で創出した細胞シートテクノロジーで世界の多くの難病で苦しむ患者を救済する挑戦である。また、国を超えた研究者・医師の共同研究の新しい仕組み作りの挑戦でもある。中・長期戦略をにらんだ技術結集型の共同研究の提案でもある。

9.11の悲劇に続き、去年は11.9の悲劇と言われたトランプの大統領選出の選挙そのもののCNNの実況をユタで見たその時の興奮と恐怖は記憶に新しい。目の前が真っ暗になった。その後、必ずしも悲劇とはならず、日米共に株価は大きく上昇し続けている。新年が開け、数日前からユタ大に来ている。昨日、ユタ州からの大型支援プロジェクトのキックオフミーティングを終え、チームのメンバー達と喜びを共にし、すぐに研究計画の見直しにとりかかった。アメリカでできるだけ早くにヒトの細胞シート再生医療を実行するために、道なきところに道を作るための具体策の策定である。TWInsの清水先生と連絡をとりながら、新

しいユタ大と東女医大の共同研究のさらなる発展のための努力と工夫が必須である。

1月20日はトランプの大統領就任の日であり、私はまたまたアメリカで歴史的な体験をすることとなった。トランプは金融と株は完全自由化を目指す一方、産業はナショナリズムで保護主義を主張している。その政策の矛盾を目の前の利潤追求ということで誤魔化しているものの、いずれ破綻することになるであろう。かつての強いアメリカは、自由競争で勝ち取った力によって強く揺るぎのないアメリカを現出した。しかし、目の前のことのみでこだわる政策で、トランプは強い国を取り戻すことができるのであろうか。

さて、中・長期的に活動を続けなければならない再生医療はアメリカで加速させて発展させることができるのか。トランプ政策に逆行してでも我々は強い力で挑戦し続けることが求められている。背筋を伸ばして一步一步前に進むことが重要と自分に言い聞かせている。